

平成30年度

筑前町の環境

(筑前町環境基本計画 年次報告書)



令和2年10月

筑前町 環境防災課

— 目 次 —

1. 美しい自然と共生する	1
2. 住みやすいまちにする	5
3. 快適な暮らしを支える	9
4. 地球に優しくする	11
5. みんなでまちを創る	13
6. 数値目標の達成状況	15
7. 計画の推進	17

■筑前町環境基本計画の施策体系

めざす環境の姿

自然と農と思いやりの心が共生するまち 筑前

筑前町は、夜須高原や目配山などのゆるやかな山々や高原が連なり、筑後川水系の草場川、曾根田川、山家川などの河川によって潤される肥沃な水田地帯が形成されています。

この豊かな自然を守り、食糧基地としての農業を支え、育てていくことは、私たちに課せられた使命であるといえます。

同時に、私たちが忘れかけている「もったいない」という言葉の意味や精神を今一度かみしめて、一人ひとりが思いやりの心、協働の精神を持ちながら、ともに助け合い、声を掛け合いながら、みんなで筑前町をより良い環境にしていくことをめざします。

目 標	施策の方向性	基本的施策
1 美しい自然と共生する (自然環境)	優れた自然環境の保全と活用	優れた自然環境の保全 希少な動植物の保護 自然とふれあう場・機会の創出
	身近な里地里山の保全と再生	里地里山の保全と再生 環境に配慮した農林業の推進
2 住みやすいまちにする (生活環境)	生活環境の保全	大気・水・土壌環境等保全対策の推進 環境監視体制の充実
	循環型社会の構築	ごみ減量と資源化の推進 ごみ処理制度の充実と適正処理 環境美化対策の推進
3 快適な暮らしを支える (快適環境)	心地よいまちの創造	公園・緑地の整備 都市景観・農村景観の形成 歴史・文化的環境の保全と活用
4 地球に優しくする (地球環境)	地球温暖化の防止	省エネルギー対策の推進 新エネルギー活用の促進 二酸化炭素吸収源の確保
5 みんなでまちを創る (環境保全体制)	環境教育・環境学習の推進	環境情報の収集・整備と活用 学校における環境教育の推進 地域における環境教育・学習の推進
	みんなでまちを創るしくみづくり	住民団体の育成とネットワーク化 住民による環境保全活動の促進 事業者の環境保全行動の促進 環境保全活動を通じた地域コミュニティの形成

■実施状況調書の見方

環境基本計画及び環境行動計画に記載している施策、実施時期、担当課(施策に記載している内容は、実施時期に表示している条件を示す)を示す。

実施時期 前期：概ね令和3年度まで
 中期：概ね令和6年度まで
 後期：概ね令和9年度まで

施策	実施時期			担当課	平成●年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	1	2	3	4
「現在も実施中あるいは前期に着手して、その後も継続実施する場合」の実施時期の表現方法→	■	■	■	〇〇課	〇〇事業は〇月、〇月の2回実施済み。次年度も同事業を実施予定。	優	↗	→	→	→	
				□□課	□□事業は平成□年度に実施予定。	可	→				
「中期に着手して、その後も継続実施する場合」の実施時期の表現方法→		■	■	△△課	△△事業は方針未定だが、今後方針を検討する。	不可	↘				
				〇〇課	〇〇については資料収集を実施済み。	可	→				
「中期に着手して完了する場合」の実施時期の表現方法→		■		△△課	未着手	不可	↘				

【基準年評価】(環境防災課が評価する)

優	良くてきた
良	できた
可	少しできた
不可	できていない

【対前年度自己評価】(担当課が評価する)

↗	良くなった
→	同程度
↘	悪くなった

1. 美しい自然と共生する

(1) 優れた自然環境の保全と活用

1) 優れた自然環境の保全

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
土地利用関連計画や関連法、条例などにより、適正な規制、誘導を行い、無秩序開発の未然防止や適正な土地利用への誘導を図ります。	■	■	■	都市計画課	国土利用法に基づく土地取引の届出受付：平成30年度2件 ・都市計画法の運用(用途地域等)又、開発指導要綱により、適切な土地利用を誘導：随時実施	優	→	0	0	0	
				農林商工課	総合計画で示した土地利用を推進する。	優	→	0	0	0	
自然環境保全条例に基づく自然環境保全地域の保全を推進します。	■	■	■	都市計画課	自然環境保全条例に基づく届出…平成30年度1件	優	→	0	0	0	
水源かん養機能を有する森林区域や保水機能を有する水田の保全など、優れた自然環境の保全を図ります。	■	■	■	農林商工課	30年度に荒廃森林整備事業を活用し5.5haの間伐を行い、適正な森林生育に寄与した。	良	→	0	0	0	

2) 希少な動植物の保護

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
コムラサキやキキョウなどの希少な動植物の保護対策を推進し、生息・生育環境の保全に努めます。	■	■	■	環境防災課	特別に位置づけた事業はしないが、国や県の通知を参考に通年取り組んでいる。	可	→	0	0	0	
ブラックバスやブルーギルなど、生態系に影響を及ぼす外来生物の防除対策を推進します。	■	■	■	環境防災課	特別に位置づけた事業はしないが、国や県の通知を参考に通年取り組んでいる。	可	→	0	0	0	

3) 自然とふれあう場・機会の創出

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
福岡県の「快適環境スポット」として選定された城山(花立山)をはじめとする自然景観の保全と活用を図ります。			■	企画課	目配山、城山、砥上岳を掲載した登山道マップの配布を行った。	良	→	0	0	0	
城山(花立山)や目配山、砥上岳における遊歩道の整備など、身近な自然とのふれあいの場づくりを進めます。			■	企画課	砥上岳登山道及び目配山山頂は定期的に除草作業を委託し、快適に利用できるよう努めている。	良	→	0	0	0	
生態系に配慮した河川護岸工事や川づくりを進めます。		■	■	建設課	被災箇所災害復旧において、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に基づき復旧工法の検討を行っている。	優	→	0	0	0	
観光資源としての自然環境や農業の活用を図り、エコ・ツーリズムを推進します。			■	農林商工課	貸農園や収穫体験を実施。次年度以降も継続予定。	良	→	0	0	0	
				企画課	町の観光パンフやHPなどを通じてPRしている。	良	→	0	0	0	
子どもたちが自然や歴史、文化とふれあい、学習できる機会をつくります。			■	生涯学習課	川辺の清掃活動や郷土料理体験教室等を実施し、自然・歴史・文化とふれあい体験学習を行った。	優	→	0	0	0	
				企画課	平和記念館に町内小中学校の一学年が年1回来館している。	優	→	0	0	0	

(2) 身近な里地里山の保全と再生

1) 里地里山の保全と再生

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	農作物に被害を与える鳥獣害防止対策を推進します。	■	■				■	農林商工課	筑前町有害鳥獣駆除協議会を総会を含め4回実施し、夜須班・三輪班合同の有害駆除を2回実施(駆除数:イノシシ139、シカ154、カラス98、ドバト1)	優	→
風倒木の適正な処理や竹林の拡大防止、植林等による森林の保全、整備を、森林所有者、森林組合等との協働により進めます。		■	■	農林商工課	30年度に荒廃森林整備事業を活用し5.5haの間伐を行い、適正な森林生育に寄与した。	優	→	0	0	0	
耕作放棄地を有効活用し、農地の保全を図ります。		■	■	農林商工課	農業委員会による指導や9月に農地パトロールを実施した。	良	→	0	0	0	

2) 環境に配慮した農林業の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培、廃プラスチック類や家畜排泄物など農業関連廃棄物の適正処理・リサイクルなど、周辺住民への理解を得ながら環境保全型農業を推進します。	■	■				■	農林商工課	環境保全型直接支払交付金事業に取り組む。農業用使用済みプラスチックの処理費補助を行っている。	優	→
表わら・稲わらの全量きこみを推進します。		■	■	農林商工課	農事放送、文書の配布を通じて周知・啓発するほか、通報に基づく現地指導を行っている。	良	→	0	0	0	
農薬散布などを行う際には、周辺住民への声かけを行うよう農業者に指導するとともに、農地周辺の住民に対しては、農薬散布の必要性などについて啓発を行います。	■	■	■	農林商工課	農政リーダーや農政推進組織会議の会議等で周知・啓発を行っている。また、農薬の適正使用についてのポスターを掲示をする等啓発を行っている。防災無線での周知・啓発を行っている。	良	→	0	0	0	

2. 住みやすいまちにする

(1) 生活環境の保全

1) 大気・水・土壌環境等保全対策の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	水質汚濁・大気汚染や騒音・振動、悪臭等は県保健福祉環境事務所など関係機関との連携のもと、監視・指導を推進し、公害の未然防止と適切な対応に努め、住民や事業者に対する公害防止啓発を行います。	■	■				■	環境防災課	状況に応じて関係機関とも連携を取り対応している。	良	→
光化学オキシダントやPM2.5が基準値を超えた場合は、住民や事業者に対して速やかで適切な注意喚起などを行います。	■	■	■	環境防災課	休日に発生した場合でも対応できるよう連絡網を整備している。	良	→	0	0	0	
家畜糞尿による悪臭・水質汚濁等、生活環境悪化を防止するため、関係機関と連携し、適切な排泄物処理を指導します。	■	■	■	農林商工課	筑前町畜産経営環境保全推進指導協議会を設置し、対応している。苦情等の連絡があればその都度関係機関と連携し対応している。	良	→	0	0	0	

田園風景に囲まれた静かな住宅地としての環境を守るため、交通騒音対策を推進します。	■	■	■	環境防災課	警察と連携を取り、各団体のパトロールによる見守り啓発を行っている。	良	→	0	0	0
公共下水道事業の汚水整備の早期完了を目指すとともに、供用開始区域における早期接続を推進し、浸水地区の解消のために雨水渠の整備を推進していきます。	■	■	■	上下水道課	事業計画区域内の整備は平成25年度をもってほぼ完了したが、一部区域内の未整備地区について汚水処理構想の見直しの中で、平成37年度の完成を目指す。併せて、既供用開始区域内の未接続者に対しては広報及び文書を発送し、接続促進を図る。	優	→	0	0	0
農業集落排水事業が供用開始されている地区における加入を促進します。	■	■	■	上下水道課	今年度は未接続者に文書を送付し、接続促進を図ることができた。	優	→	0	0	0
公共下水道事業、農業集落排水事業の集合処理に適さない地域等では、合併処理浄化槽の設置を促進します。	■	■	■	上下水道課	合併浄化槽設置補助事業：申込1件。広報に補助事業について掲載し、下水道への切り替えを促す。	良	→	0	0	0
浄化センターの効率的な維持管理に努めるとともに、関係法令等に基づき、浄化槽の適正な維持管理を指導します。	■	■	■	上下水道課	各浄化センターについては、随時点検を行い、メンテナンスしながら適正な維持管理に努めている。又、浄化槽の維持管理については、事業者に委託し、定期的な汚泥の引き抜き、水質検査を実施することで適正な維持管理を行っている。	優	→	0	0	0
合成洗剤や除草剤の適正使用など、水質の保全に関する啓発を推進します。	■	■	■	環境防災課	苦情等の連絡があれば県と連携しその都度対応する。	良	→	0	0	0
河川水や地下水の継続的な水質検査を実施します。	■	■	■	環境防災課	河川は年3回、地下水は年1回水質検査を実施。	優	→	0	0	0
ごみなどが溜まりやすい状況にある河川においては、河川管理者と協議しながら土砂の浚渫を推進します。	■	■	■	建設課	町管理である準用河川、普通河川は予算の範囲内で、浚渫工事を実施し、平成29年度は3件実施している。	良	→	0	0	0
水の長期的、安定的な供給のため、上水道施設の整備を推進します。	■	■	■	上下水道課	今年度は、大塚、曾根田の一部の配水管を延伸した。事業は概成した。	優	→	0	0	0
透水性舗装や透水性水路の導入等を進めるとともに、家庭における雨水浸透ますの設置を促進するなど、雨水の地下浸透に係る事業を推進します。	■	■	■	建設課	改良工事を計画する際は、「道路の移動円滑化整備ガイドライン」に基づき、透水性舗装等の設計を実施している。ただし、町内には田園地帯に接する道路が多数あり、このような道路への透水性舗装は適さないことから全体的に統一することは難しい。	良	→	0	0	0
啓発活動等を通じて住民の節水意識の高揚と実践活動を促進するとともに、公共施設における雨水や下水処理水の活用、さらに家庭における雨水利用を促進します。	■	■	■	都市計画課	建替団地(新太刀洗、新町、井手)においては、雨水を貯め中水として利用している。	優	→	0	0	0
				上下水道課	【上水道】 開発件数が増加しており、ドレンの管理で捨水を極力減らす。夏と冬では、捨水の量を調整して節水に心掛けた。 【下水道】 広報誌・下水道展等により広く啓発する。	良	→	0	0	0

2) 環境監視体制の充実

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
								→	0	0	0
法律で禁止されているごみの野焼きについては、監視を行うとともに、住民、事業者への指導を行います。	■	■	■	環境防災課	防災無線での周知、啓発を行うとともに、苦情があれば対応を行っている。	良	→	0	0	0	
有害物質等による土壌汚染及び地下水汚染の監視体制の充実を図ります。	■	■	■	環境防災課	苦情等あれば県と連携し、対応を行っている。	良	→	0	0	0	

(2) 循環型社会の構築

1) ごみ減量と資源化の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準 年 評 価	対前年度 自己評価			
	前期	中期	後期				30 元	2	3	4
ごみ削減に向けた住民や事業者への啓発を行うとともに、3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を推進します。	■	■	■	環境防災課	広報ちくぜんへ掲載し、ごみ減量の啓発を行った。また、小学校のアフタースクールに赴き3Rの出前講座を行った。古紙、古布等回収の奨励、リサイクルの推進も行っている。	良	→	0	0	0
家庭から廃棄される生ごみの量を抑制するとともに、生ごみ処理機の導入補助等によって堆肥化等の再資源化を推進します。	■	■	■	環境防災課	生ごみ処理機、コンポスト購入に助成を行っている。平成30年度は電気式生ごみ処理機9機。処理容器5器補助を行った。	優	→	0	0	0
				教育課	三輪小のみ利用し、堆肥などに活用。ごみ減量化を実施	良	→	0	0	0
指定されたごみの分別を実施するよう住民への啓発や指導を行います。	■	■	■	環境防災課	転入者へのごみ出しの説明、ごみの出し方の問い合わせに対応。また、環境美化推進委員や、リーダー説明会の研修実施。	優	→	0	0	0
都市鉱山として注目されている、家庭で使用済みとなった小型家電の再資源化を進めます。	■	■	■	環境防災課	本庁及び総合支所入口付近に専用の回収ボックスを設置している。	良	→	0	0	0
リサイクル工房での不用品・再生品の展示・無料引渡し会を充実し、ごみ量の抑制を進めます。	■	■	■	環境防災課	3ヶ月に1回リサイクル展示会を開催している。広報による周知を図っており、毎回多くの来場者がある。	優	→	0	0	0
庁内における再生紙使用率の向上や環境配慮製品の利用を推進するとともに、町内事業所への普及啓発を図ります。	■	■	■	環境防災課	再生製品を使用しており、財政課より一括購入している。	良	→	0	0	0
				財政課	経費削減と再生製品利用の両観点から勘案して、購入しており、今後も継続していく。	良	→	0	0	0
建設現場等における分別の徹底等を通じて建設副産物の有効利用、再資源化等を促進します。また、公共下水道事業や農業集落排水事業の進捗に伴う下水道汚泥の資源化を推進します。	■	■	■	都市計画課	建設工事にて発生した産業廃棄物等については、計画に基づき適正に処分を行うよう指導している。又、可能な範囲での再生材利用の促進を図っている。	優	→	0	0	0
				農林商工課	町施工工事、地元施工型工事において発生した建設副産物については、廃棄物処理法等関連法規の規定に基づき適切な処理を行っている。	良	→	0	0	0
				建設課	「建設リサイクル法」に基づき、品質安全性等の基準に適合し、承認された製品のみ再生資材・再生リサイクル製品の有効利用を実施している。また、産業廃棄物処理報告書(産廃管理表)、マニフェスト(a票・e票)の提出を徹底している。今後も資源の有効利用に努めて、できるだけ産業廃棄物の排出を少なくする取り組みを進めていく。	優	→	0	0	0
				上下水道課	AS合材、路盤材、埋戻材を再生材で指定し、AS殻については、再資源化を義務付けている。引き続き、建設リサイクル法に基づき、再生資源利用計画・報告書及び再生資源利用促進計画・報告書と併せ、マニフェストの提出を徹底し、その管理に努める。	優	→	0	0	0
図書館廃本のリサイクルを促し、教育現場での紙資源等のリサイクル活動を推進します。	■	■	■	教育課	リサイクル業者に回収を委託。紙資源のリサイクルを実施。	良	→	0	0	0

事業所から発生するごみの減量化を促進するために、事業所によるごみ減量化計画策定を要請します。	■	■	■	環境防災課	毎年事業所へ訪問指導を行っている。減量化計画書を出してもらい、事業所系ごみ減量化に取り組んでいる。今後も持続して取り組む。	良	→	0	0	0
農業活動に伴う廃棄物の適正処理を関係機関との連携のもと、農家への周知を図るとともに、廃棄物のリサイクルについての調査研究を行います。	■	■	■	農林商工課	農業用使用済みプラスチックの処理費補助を行っている。	良	→	0	0	0
家畜排泄物の良質堆肥化を進め、畜産農家と耕種農家連携のもと、環境にやさしく、調和のとれた地域循環型農業を目指します。	■	■	■	農林商工課	継続して地域循環型農業を推進する。	良	→	0	0	0
食品ロス削減に向けた「30・10運動」等の取り組みを事業者や住民へ呼びかけます。	■	■	■	環境防災課	広報誌へ掲載し、啓発を行った。	良	→	0	0	0

2) ごみ処理制度の充実と適正処理

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				30	元	2	3
サンボートの適正な管理・運営などに努めごみ処理・リサイクル体制の充実を図ります。	■	■	■	環境防災課	サンボートとともに連携を取り適正な管理・運営に取り組んでいる。	優	→	0	0	0
広域連携のもと、生し尿・浄化槽汚泥の適正処理及び収集・処理体制の充実に努めます。	■	■	■	環境防災課	両筑衛生施設組合に加入し、適正処理に取り組んでいる。下水道事業の普及に伴い、年々減少傾向である。	優	→	0	0	0

3) 環境美化対策の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				30	元	2	3
ごみの不法投棄防止に向けた環境美化推進員や住民との協働による監視や通報体制の構築を推進します。	■	■	■	環境防災課	各区の環境美化推進委員により定期的な監視を行い、簡易なごみの回収を行っている。職員による不法投棄監視パトロールも毎月2回(9・12月は4回)行っている。	優	→	0	0	0
ごみのポイ捨てやペットのふんを放置しないようマナー向上のための啓発を行うとともに、ポイ捨て、不法投棄、ペットのふんの放置禁止などを促す看板の設置を行います。	■	■	■	環境防災課	住民に対し、防災無線で周知を行い、必要あれば看板の貸出しの対応を行っている。また、犬猫のマナーアップキャンペーン(保健所主催)にも参加し啓発も行っている。	良	→	0	0	0
アダプトプログラム(公共空間の里親制度)の導入等により、道路や公園・緑地などの協働による公共空間の美化活動などの維持管理を促進します。	■	■	■	都市計画課	朝日公園並びに町内の小規模開発公園の管理は地元区に依頼しており、継続して協働のまちづくりを推進する。	良	→	0	0	0
				建設課	(社)筑前町シルバー人材センターへの道路管理業務委託(パトロール、簡易舗装)や地元の協力により道路の維持管理に努めている。	良	→	0	0	0

3. 快適な暮らしを支える

(1) 心地よいまちの創造

1) 公園・緑地の整備

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	緑の基本計画に基づき、身近な公園の整備や里山、歴史的資源を活かしたネットワーク化を推進します。	■	■				■	都市計画課	開発協議の中で公園の整備を指導。財政状況を含め、総合的に検討しながら、基本計画に沿った取り組みを行う。	良	→
ユニバーサルデザインの導入によって、誰もが利用しやすい公園づくりをめざします。	■	■	■	都市計画課	開発に伴い整備する公園については、ユニバーサルデザインを考慮した指導を行っており、継続して安心・安全な空間を提供していく。	良	→	0	0	0	
公共施設における緑化の推進や緑、花による民有地の緑化を推進します。	■	■	■	都市計画課	公共施設については、樹木等適正に維持管理を行っている。現段階で民有地についての緑化を推進する施策はない。	良	→	0	0	0	
水や水辺とふれあう場として、親水空間の保全と創造を推進します。		■	■	都市計画課	曾根田親水公園やその他都市公園における親水空間の適正な維持管理に努める。	良	→	0	0	0	

2) 都市景観・農村景観の形成

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	個性的で美しい景観づくりを協働により推進していきます。	■	■				■	都市計画課	福岡県屋外広告物条例に準じて屋外広告物設置についての指導を行っている。許可区域内の違反広告物については、年1回簡易除却を行っており、継続して取り締まりを強化していく。	良	→
歴史的街並みの保全など、風情ある景観づくりを推進します。	■	■	■	企画課	H21年度設置した大刀洗飛行場関連の戦時史跡案内板を活用し、歴史的景観の保全に努めた。また、第一級の戦跡である掩体壕について整備計画を進めている。	良	→	0	0	0	
道路の整備・管理にあたっては、災害時への対応やバリアフリー化、環境・景観の保全と創造などに配慮した、人と環境にやさしい道路空間づくりを進めます。		■	■	建設課	「道路構造令」を第一に遵守し、道路整備を実施している。また、昨年度同様マウンドアップ歩道形式等からセミフラット歩道形式への順次改善を行い、バリアフリー化を図っている。	良	→	0	0	0	
未改修の集落内道路については、計画的に道路改良等の整備を推進します。	■	■	■	建設課	総合計画に基づき、道路整備を実施している。	優	→	0	0	0	
空き地や空き家、耕作放棄地対策を推進し、美しい農村景観の形成を図ります。	■	■	■	都市計画課	空家の流通による利活用のため。空家バンクについて情報収集し、開設に向けた協議を関係機関や不動産団体と行った。	可	↗	0	0	0	
				農業委員会	9～10月に農地パトロールを実施した。	良	→	0	0	0	

3) 歴史・文化的環境の保全と活用

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	焼ノ峠古墳など、指定文化財の保存と活用に努めるとともに、「おくんち」や「獅子廻し」などの祭りや伝統文化を保存・伝承していきます。	■	■				■	教育課	国史跡の焼ノ峠古墳や仙道古墳について、景観保持のため、定期的に除草作業を行った。国史跡仙道古墳石室の一般公開を秋に行い、79名の石室官学者を迎えた。	良	→
指定文化財の適切な保存を行うとともに、緑のネットワークを形成する貴重な資源の一つとして活用を図ります。		■	■	教育課	朝倉須恵器窯跡は、平成30年10月15日に国指定史跡として認定された。	良	→	0	0	0	

4. 地球に優しくする

(1) 地球温暖化の防止

1) 省エネルギー対策の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
「クールビズ」や「ウォームビズ」をはじめ、地球環境にやさしいライフスタイルやビジネススタイルの選択など、賢い選択を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進します。	■	■	■	環境防災課	広報・HPで省エネ、節電に関する情報を掲載した。	良	→	0	0	0	
「エコファミリー」の募集や環境家計簿の配布など、省エネルギーに関する啓発を行います。	■	■	■	環境防災課	窓口にパンフレットを置き、啓発を行っている。	良	→	0	0	0	
省エネルギー機器の導入や省エネルギー改修を促進するための情報提供を行います。	■	■	■	環境防災課	住民へ向けての情報提供は行っていない。	不可	→	0	0	0	
アイドリングストップや空ふかしの防止などのエコドライブ運動を推進し、運輸部門の省エネルギー化を図ります。	■	■	■	環境防災課	町職員へ働きかけをしていき、啓発を行って行く。	良	→	0	0	0	
公共交通機関や自転車の利用促進などによる交通の省エネルギー対策を推進します。	■	■	■	環境防災課	町職員へ働きかけをしていき、啓発を行って行く。	良	→	0	0	0	
地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、庁内の省エネルギー対策と地球温暖化対策の推進を図ります。	■	■	■	環境防災課	実施状況を検証しながら目標達成に向けて取り組みをしていく。第二次筑前町環境基本計画の策定を行った。	優	→	0	0	0	

2) 再生可能エネルギー活用の促進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
住民と事業所へ再生可能エネルギーの導入に関する情報提供を行います。	■	■	■	環境防災課	再生可能エネルギーに関する情報提供は行っていない。	不可	→	0	0	0	
公用車への低燃費・低公害車導入や公共施設への太陽光発電設備を積極的に導入し、住民や事業者への啓発にも活用します。	■	■	■	環境防災課	公用車は低燃費、低公害車へ順次変更している。(低公害車の割合:67.7%)	良	↗	0	0	0	
				財政課	公用車購入の際には、低燃費等に考慮するとともに、太陽光発電システムについては、庁舎玄関モニターにて発電状況を表示し、来庁者への啓発を継続して行っていく。	良	→	0	0	0	
廃棄処分される農産物や家畜排泄物、家庭の生ごみ、剪定枝などの生物資源を活用したバイオマスエネルギーの導入を推進します。			■	農林商工課	木質バイオマス発電所の建設が進み、31年度中には本格的に稼働するため、間伐材の利用をより推進する。	可	→	0	0	0	
				環境防災課	サンボートでは焼却熱利用による発電を行っている。	良	→	0	0	0	

3) 二酸化炭素吸収源の確保

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価 30	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				元	2	3	4
	風倒木の適正な処理や竹林の拡大防止、植林等による森林の保全、整備を協働により進めます。(里地里山の保全と再生の再掲)	■	■				■	農林商工課	荒廃森林整備を5.5ha実施したが、県の要件が厳しくなったため、森林所有者との協議が進めにくい状況。今後、県の荒廃森林整備事業を活用しながら、森林環境譲与税による荒廃森林、荒廃竹林対策を検討する必要がある。	良
公共施設における緑化の推進や緑、花による民有地の緑化を推進します。(公園・緑地の整備の再掲)	■	■	■	都市計画課	公共施設については、樹木等適正に維持管理を行っている。現段階で民有地についての緑化を推進する施策はない。	良	→	0	0	0

(2) 気候変動の影響への対応

1) 自然災害への対応

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価 30	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				元	2	3	4
	豪雨やそれに伴う土砂災害等に備えた道路・河川等のインフラ整備を進めます。	■	■				■	建設課	道路構造及び河川構造の脆弱部は、強固な構造物等を築造し整備を実施している。	良
ハザードマップを配布するなど、住民・事業者の防災意識の高揚に向けた情報提供を行います。	■	■	■	環境防災課	出前講座でハザードマップの周知を行い、防災意識の高揚を図った。	良	→	0	0	0
自主防災組織の育成を進め、地域における防災体制の確立に努めます。	■	■	■	環境防災課	新規設立3行政区、計36行政区。(83.89%) 2団体に防災訓練の支援を実施。	良	→	0	0	0

2) 健康被害への対策

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価 30	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				元	2	3	4
	ホームページ等を活用して熱中症や感染症に関する情報を提供します。	■	■				■	健康課	ホームページ等を活用して熱中症や感染症に関する情報を提供した。	良

5. みんなでまちを創る

(1) 環境教育・環境学習の推進

1) 環境情報の収集・整備と活用

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価 30	対前年度自己評価			
	前期	中期	後期				元	2	3	4
	学校や地域における環境教育、学習の機会を増やし、子どもから大人までの環境保全意識の向上やボランティア意識の高揚を図ります。	■	■				■	教育課	リサイクル業者に回収を委託。紙資源のリサイクルを実施。	良
こども課				保育所周辺のごみひろいをしたり、花を植えた。	良	→		0	0	0
環境防災課				老人会へ出向き、3Rについての出前講座を行った。	良	→		0	0	0
生涯学習課				各スポーツ少年団が清掃活動等の奉仕活動を行い、ボランティア意識や環境保全意識の向上を図った。	良	→		0	0	0
環境情報の収集と整理を行い、町公式ホームページや広報を通じて、広く情報を提供します。	■	■	■	環境防災課	環境に関する情報について広報やホームページで周知を図る。	良	→	0	0	0

2) 学校における環境教育の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	学校教育の一環として生き物調査や水質調査などの環境調査の実施を検討します。	■	■				■	教育課	学校の年間計画に従い実施した。	良	→
学校における環境教育を充実させるために、環境教育プログラムを作成します。	■	■	■	教育課	総合的な学習における環境教育で実施。	良	→	0	0	0	

3) 地域における環境教育・学習の推進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	地域での環境教育や環境学習の機会を増やし、地域環境リーダーの育成に努めます。	■	■				■	環境防災課	環境美化推進委員、各区のステーションリーダーを対象とした研修を行った。また、福岡県衛生連合会主催の女性講座へも積極的に参加したり、地域の老人会へ赴き環境の出前講座を行った。	良	→

(2) みんなでまちを創るしくみづくり

1) 住民による環境保全活動の促進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	環境保全活動に積極的に参加できるよう、啓発活動を推進します。	■	■				■	環境防災課	区長を通じ、町内一斉クリーン運動への参加を呼び掛けている。(年2回実施)	優	→
実践的な環境保全活動を展開する環境ボランティアやNPOの育成に努めます。	■	■	■	環境防災課	環境保全活動を展開する団体は、ごみ減量の会のみとなっている。	可	→	0	0	0	

2) 事業者の環境保全行動の促進

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	町内事業者に対しエコアクション21などの環境マネジメントシステムの認証取得に関する情報提供を行います。	■	■				■	環境防災課	特段の取組はできていない。	不可	↗

3) 環境保全活動を通じた地域コミュニティの形成

施策	実施時期			担当課	平成30年度の実施状況及び今後の予定	基準年評価	対前年度自己評価				
	前期	中期	後期				30	元	2	3	4
	住民・住民団体・事業者等の協働による環境保全活動を推進し、地域のコミュニティ形成に努めます。	■	■				■	環境防災課	町内一斉クリーン運動への参加を呼びかけたり、近隣の野良猫被害による地域猫活動の支援を行った。	良	→
地域環境力を高めるために国の多面的機能支払交付金を活用します。	■	■	■	農林商工課	多面的機能支払交付金事業(共同・長寿命化)を活用して、地域資源の適正な管理が行われた。施設については、計画的な補修・整備を行い、協働の趣旨により関係者にて長寿命化への動きが加速化している。	可	→	0	0	0	

6. 数値目標の達成状況

【目標年度に向けた達成状況の凡例】

- 達成: 目標値を既に達成している
- 良好: 目標値達成に向けて向上している
- 現状維持: 横ばい
- 未達成: 達成していないまたはデータ不足

【対前年度の状況の凡例】

- ↑: 良くなった
- : 同程度
- ↓: 悪くなった

(1) 美しい自然と共生する

指標	目標 (目標年)	現況 (現況年)	2018年度	2019年度	対前 年度 状況	2020年度	対前 年度 状況	2021年度	対前 年度 状況	2022年度	対前 年度 状況	目標年 度に向 けた達 成状況	評価及び 今後の対応
			達成値	達成値	2019 R1	達成値	2020 R2	達成値	2021 R3	達成値	2022 R4		
保安林指定面積 (総合計画)	現況より増加 (2026年度)	716.93ha (2016年度)	-	-		-		-		-			2022年に把握予 定
双崎町自然環境保全条例に基づく 自然環境保全地域(総合計画)	2,735ha (2026年度)	2,735ha (2016年度)	-	-		-		-		-			
緑とのふれあいに関する住民 の満足度	58.0% (2026年度)	55.6% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケ ート実施検討中
野鳥や昆虫等とのふれあい に関する住民の満足度	39.0% (2026年度)	35.1% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケ ート実施検討中
水や水辺とのふれあいに関 する住民の満足度	39.0% (2026年度)	35.3% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケ ート実施検討中
川や池の水のきれいさに関 する住民の満足度	53.5% (2026年度)	45.2% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケ ート実施検討中

(2) 住みやすいまちにする

指標	目標 (目標年)	現況 (現況年)	2018年度	2019年度	対前 年度 状況	2020年度	対前 年度 状況	2021年度	対前 年度 状況	2022年度	対前 年度 状況	目標年 度に向 けた達 成状況	評価及び 今後の対応
			達成値	達成値	2019 R1	達成値	2020 R2	達成値	2021 R3	達成値	2022 R4		
河川BOD値(総合計画) ※町内全ての観測地点	2.0mg/l (2026年度)	2.3mg/l (2016年度)	2.0mg/l			-		-		-		現状維持	良好な水質保 全に取り組む
污水処理人口普及率 (総合計画: 污水処理施設の整備状況を見ず 計画)	100.0% (2026年度)	99.5% (2016年度)	99.97%			-		-		-			
公共下水道水洗化率	91.6% (2026年度)	81% (2016年度)	82.90%			-		-		-			
農業集落排水水洗化率	93.3% (2026年度)	91.3% (2016年度)	91.80%			-		-		-			
焼却処分等のごみの量 (総合計画)	7,000トン (2026年度)	7,932トン (2016年度)	6,962トン			-		-		-		現状維持	再資源化の啓 発や
資源ごみ回収量 (総合計画)	2,500トン (2026年度)	2,884トン (2016年度)	2,666トン			-		-		-		良好	資源ごみの回 収に努める
ごみ等の不法投棄件数 (総合計画)	87件 (2026年度)	70件 (2016年度)	76件	-		-		-		-		良好	看板の設置、防 災無線などを通 し啓発を行う
ポイ捨てなどの散乱ごみの量 に関する住民の満足度	49.3% (2026年度)	36.9% (2016年度)	-			-		-		-		良好	2021年にアンケ ート実施検討中

(3) 快適な暮らしを支える

指標	目標 (目標年)	現況 (現況年)	2018年度	2019年度	対前 年度 状況	2020年度	対前 年度 状況	2021年度	対前 年度 状況	2022年度	対前 年度 状況	目標年 度に向 けた達 成状況	評価及び 今後の対応
			達成値	達成値	2019 R1	達成値	2020 R2	達成値	2021 R3	達成値	2022 R4		
まちなみ景観の美しさに関する住民の満足度	53.6% (2026年度)	45.8% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケート実施検討中
公園や野外レクリエーション地の充実に関する住民の満足度	50.8% (2026年度)	41.0% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケート実施検討中
土地利用状況に関する住民の満足度	32.0% (2026年度)	25.7% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケート実施検討中

(4) 地球に優しくする

指標	目標 (目標年)	現況 (現況年)	2018年度	2019年度	対前 年度 状況	2020年度	対前 年度 状況	2021年度	対前 年度 状況	2022年度	対前 年度 状況	目標年 度に向 けた達 成状況	評価及び 今後の対応
			達成値	達成値	2019 R1	達成値	2020 R2	達成値	2021 R3	達成値	2022 R4		
二酸化炭素排出量	2013年度比 21.6%削減 (2026年度)	283千t-CO ₂ (2016年度)	-	-		-		-		-			計画の見直し時に実施する
公用車への低燃費・低公害車導入台数	現状より増加 (2026年度)	ハイブリット車 3台 (2016年度)	ハイブリット 車 3台									達成	買い替え時に導入を検討

(5) みんなでまちを創る

指標	目標 (目標年)	現況 (現況年)	2018年度	2019年度	対前 年度 状況	2020年度	対前 年度 状況	2021年度	対前 年度 状況	2022年度	対前 年度 状況	目標年 度に向 けた達 成状況	評価及び 今後の対応
			達成値	達成値	2019 R1	達成値	2020 R2	達成値	2021 R3	達成値	2022 R4		
環境保全体数	1団体 (2026年度)	1団体 (2016年度)	1団体 (ごみ減量の会)									達成	団体数の増加に向け啓発を行う
学校や地域における環境教育(山前講座等)の実施回数	累積9回 (2026年度)	3回 (2016年度)	1回									未達成	環境教育の実施をおこなっていく
環境に関するイベントの開催数	累積9回 (2026年度)	1回 (2016年度)	3回 (こどものつどい)									良好	今後も継続的な開催に努める
環境モラルに関する住民の満足度	39.0% (2026年度)	35.7% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケート実施検討中
総合的な身近な環境に関する住民の満足度	61.3% (2026年度)	44.1% (2016年度)	-	-		-		-		-			2021年にアンケート実施検討中

※一般廃棄物処理事業実態調査処理状況調査、20、21表より。計算式にあてはめ数値化。